

………… 2021年版 …………… 「中小企業白書」「小規模企業白書」の概要

2021年版の「中小企業白書」「小規模企業白書」が令和3年4月23日に中小企業庁より発表されました。2021年版白書は、「危機を乗り越え、再び確かな成長軌道へ」をテーマに、新型コロナウイルス感染症が中小企業・小規模事業者に与えた影響をきめ細かく分析し、その実態を明らかにするとともに、危機を乗り越えるために重要となる取組や、経営者の参考になるデータや事例を豊富に紹介しています。

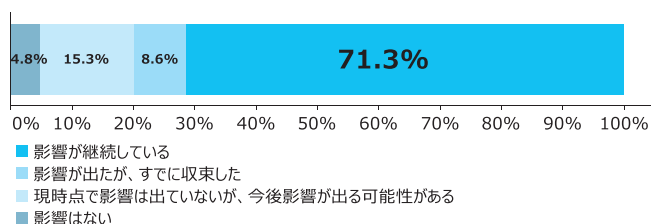
本誌では概要についてご紹介しますが、中小企業庁HPIにて白書全文がご覧いただけます。

中小企業庁HP <https://www.chusho.meti.go.jp/pamflet/hakusyo/index.html>

新型コロナウイルス感染症流行の中小企業への影響

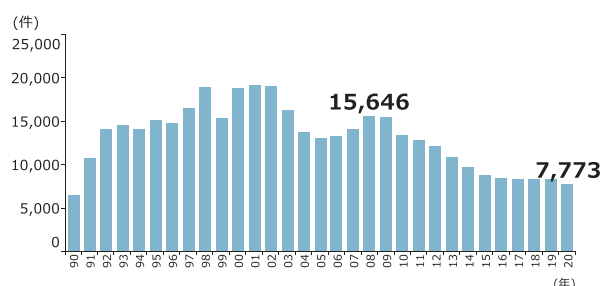
- 感染症流行により、多くの中小企業が引き続き厳しい状況にある。
- 倒産件数は低水準となっており、金融支援の拡大や持続化給付金など概ね各種支援策が功を奏していると思われるが、感染症の影響に引き続き留意することが必要。

新型コロナウイルス感染症による企業活動への影響



資料：(株)東京商工リサーチ「第14回新型コロナウイルスに関するアンケート調査」(2021年3月)

倒産件数の推移

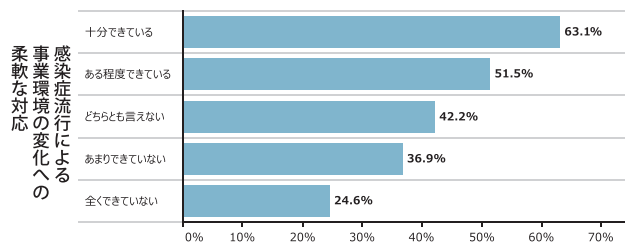


資料：(株)東京商工リサーチ「全国企業倒産状況」

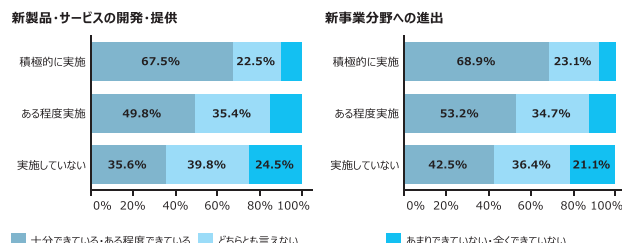
感染症流行による事業環境変化への対応

- 感染症流行下においても、事業環境の変化に合わせ、新製品の開発や新事業分野への進出など柔軟な対応ができている企業ほど回復が早い。
- 今回の変化を転機と捉え、顧客のニーズや自社の強みに着目し、事業を見直すことも重要。

感染症流行による事業環境変化への対応状況別に見た、売上高回復企業の割合



感染症流行下における各種取組の実施状況別に見た、事業環境変化に対応できている企業の割合



資料：(株)東京商工リサーチ「中小企業の財務・経営及び事業承継に関するアンケート」

中小企業の財務基盤と感染症の影響を踏まえた経営戦略

- 中小企業の財務状況は、自己資本比率は高まりつつある一方、損益分岐点比率が高いため感染症流行のような売上高の急激な変化に弱い。
- 感染症流行の影響を踏まえ、まずは自らの財務状況を把握することが必要。財務指標に基づいた経営分析は、財務基盤を含む経営戦略の基礎となる。